

幹本申6号「新幹線における保線業務及び組織の見直しについて」 に関する申し入れ(その2) 団体交渉開催! ①

1. 本施策を実施する目的とメリットデメリットを明らかにすること。

施策の目的及びメリットは、環境変化に柔軟に対応し、生産性と働きがいの向上を図ることである。

【主な議論内容】

《組合》首都圏エリアを実施しての成果と課題は何か。

《会社》目的としていたデータを取得できているので、机上調査の活用ができています。線路管理をする上でレベルアップができています。一方、データも100%まで至っていない場面もある。

《組合》モニタリングデータは期日通り配信されているのか。また精度はどうか。

《会社》当初は配信が遅れている現実は認識している。今後もNSC側でも作業量が増えるが増員して対応する予定である。

《組合》配信カレンダーのようなものがあればスケジュール管理しやすい。

《会社》まだ出せる段階ではないが、将来的には出せるようにしたいと考えている。

2. 2025年4月に実施予定の新幹線保線設備技術センターの改組、仙台新幹線保線技術センター、北上新幹線保線技術センター、青森新幹線保線技術センターの体制移行と、盛岡レールオフィスを設置する根拠と目的を明らかにすること。

モニタリング車の導入等の準備が整ったためである。盛岡レールオフィスの設置は、移動時分、分岐駅などの条件を総合的に判断したものである。

【主な議論内容】

《組合》新幹線保線設備技セの改組の目的と根拠は何か。

《会社》中核を担う箇所として権限移譲を目的としている。また若い社員に企画業務等を担ってもらい、成長や働きがいを感じてもらうことも目的である。

《組合》現行設置場所が大宮支社ビルと大成事務所で分かれているが、一緒にはしないのか。

《会社》組織数をむやみに増やさないという観点から一つの組織としている。場所に関しては大きな組織のためスペースが無いのは現実である。ただ、別な場所だからといって業務に著しい支障は無い。

《組合》企画G、計画G、教育技術Gは検査等の夜勤には従事しないのか。

《会社》基本的には従事しない。

《組合》盛岡レールオフィスを設置する目的はないか。

《会社》北上幹保と青森幹保の境界が変更となるため、今回の形となった。

《組合》盛岡に幹保を設置する判断は無かったのか。

《会社》パートナー会社の設置状況を勘案し本区を北上に設置する判断とした。